

第七十五回
帝國議會
貴族院

鑛業法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

○鑛業法中改正法律案

○砂鑛法中改正法律案

○有機合成事業法案

委員氏名

委員長

副委員長

子爵保科 正昭君

男爵伊藤 一郎君

公爵岩倉 具榮君

侯爵德川 義親君

伯爵柳澤 保承君

子爵大久保 立君

子爵柳澤 光治君

岡 喜七郎君

長 世吉君

男爵肝付 兼英君

男爵安場 保健君

倉知 鐵吉君

內藤 久寛君

小坂 梅吉君

松本勝太郎君

大西虎之介君

秋田 三二君

渡邊 甚吉君

昭和十五年三月十六日(土曜日)午後一時
四十一分開會

○委員長(子爵保科正昭君) ソレデハ是ヨ

リ鑛業法中改正法律案、竝ニ砂鑛法中改正

法律案ノ特別委員會ヲ開催致シマス

○政府委員(加藤鐵五郎君) 鑛業法中改正

法律案及ビ砂鑛法中改正法律案ノ提出ノ理

由ヲ御説明致シマス、右ノ二法案ヲ立案致シマシタル根本ノ趣旨ハ、本會議ニ於テ申述ベタ通りデアリマスルガ、茲ニ本法案ノ内容ニ付テ其ノ大綱ヲ御説明申上ゲ、是ガ提案ノ理由ヲ具體的ニ明ニ致シタイト存ジマスル、先ヅ鑛業法中改正法律案ニ付テ申上ゲマスガ、其ノ第一ハ試掘權ノ制度ニ關スルモノデアリマス、現在鑛業權ハ試掘權ト採掘權トニ分レテ居リマス、試掘權ハ單ニ採掘ノ價值アリヤ否ヤノ調査ヲ其ノ内容トスルモノデアリマスカラ、試掘權ハ採掘權ト其ノ取扱ヲ異ニシ、是ガ設定ヲ簡易ニ致シマスルト共ニ、其ノ負擔ノ輕減ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、此ノ試掘及採掘ノ二本建ノ制度ハ、探鑛獎勵等ノ見地カラ極メテ適當ナ制度デアルト認メラル、ノデアリマスルガ、第三十三條ノ二ノ規定ニ依リマシテ、試掘權者ガ試掘權ノ存續期間満了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタル時ハ、舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ、他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有スルコトニナツテ居リマスル爲ニ、試掘權ハ法律上二箇年ノ期間ヲ付シテ居ルニモ拘ラズ、之ヲ殆ド無期限ニ延長シ得ルコトナリ、試掘鑛區デアリナガラ、事實ニ於テハ其ノ期間内ニ試掘ガ行ハレナイト云フ實例ガ極メテ多イデアリマス、右ノ如キ實情ニ鑑ミマシテ本法案ニ於キマシテハ試掘權ノ期間ハ之ヲ四年ト致シマスルト共ニ、第三十三條ノ二ノ規定ハ之ヲ削除スルコトト致シタノデアリマス、即チ正當ナル試掘行爲ハ

十分ニ之ヲ保護スルト共ニ、其ノ權利ノ濫用ハ嚴ニ之ヲ防止セムトスルノデアリマス、以上ガ試掘權制度改正ノ要點デアリマスルガ、斯ル改正ノ實施セラレタル曉ニハ、試掘權存續期間中ニ、殊更ニ廢業シ、然ル後直チニ再度出願ヲ爲シ、以テ實質上權利ノ延長ヲ圖リ、本改正ノ趣旨ヲ沒却スル如キ弊害ヲ招來スルコトモ豫想セラレノデアリマス、從ツテ本法案ニ於キマシテハ採掘ノ價值アリト認メタ場合ニハ試掘出願人ニ對シテノミ採掘ノ出願ヲ命ジ得ルコトニナツテ居リマスルシ、現在ノ制度ヲ改メテ試掘權者ニ對シテモ採掘ノ出願ヲ命ジ得ルコトトシタ次第デアリマス、尙ホ本法案施行當時現ニ存スル試掘權ノ存續期間ハ本法案施行ノ日カラ四年トスルコトニ致シマシタ、唯石油ニ付キマシテハ現在政府ニ於キマシテ、石油試掘五箇年計畫ヲ樹立シ、鑛區毎ニ目標ヲ定メテ其ノ實現ヲ期スルヤウナ次第デアリ、旁、石油ト試掘ハ技術的ニモ非常ニ困難デアリマスルカラ、是等ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、本法案施行當時現存スル石油ノ試掘權ニ付キマシテハ、主務大臣ノ認定ニ依リ四年以内、其ノ期間ヲ延長シ得ルコトト致シタノデアリマス、第二ハ法定鑛物ト追加ニ關スルモノデアリマス、昭和九年ノ追加ニ關スルモノデアリマス、昭和九年ニ鑛業法ヲ改正シテ、「ニッケル」鑛、「コバルト」鑛、石膏及重晶石ヲ鑛業法上ノ鑛物ニ追加致シタノデアリマスルガ、其ノ後ノ調査ニ依リマスレバ、現在ノ鑛業法ノ適用ヲ受ケザル鑛物ノ中デモ、明礬石、螢石、石棉

等ノ如キハ既ニ現在ニ於テモ、或程度ノ產出ヲ見テ居リマス、ソミナラズ近イ將來ニ於キマシテハ相當ノ產出ヲ期待シ得ルコトガ分ツ參リマシタノデ、本法案ニ於キマシテハ、此ノ際ニ是等ノ鑛物ヲ鑛業法所定ノ鑛物トナシ、以テ鑛業法ノ保護監督ノ下ニ其ノ開發ヲ促進セシメムトスルノデアリマス、次ニ現行鑛業法ニ於キマシテハ、含油層ト密接ナル關係ヲ有スル可燃質天然瓦斯ノミハ、石油ト看做サレテ鑛業法ノ適用ヲ受ケテ居ルノデアリマス、併シナガラ最近ニ於キマシテハ含油層ト密接ナル關係ヲ有スル可燃質天然瓦斯ニ限ラズ、廣ク炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯一般ニ涉リ、其ノ利用法ガ大イニ開拓セラレ、ニ至ツタノデアリマシテ、其ノ爲地下ニ埋藏スル炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ地下資源トシテ極メテ重大ナル意義ヲ有スルニ至ツタノデアリマス、斯カル實情ニ鑑ミマシテ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ含油層ト密接ナル關係ヲ有スルト否トニ拘ラズ、是ヲ全部石油ト看做スコトト致シタノデアリマス、尙ホ本法案ニ於キマシテハ、新タニ追加スル鑛物ニ付テ、其ノ事實上ノ掘採行爲ヲ尊重スル趣旨ノ下ニ、特別ノ經過規定ヲ設ケタノデアリマス、第三ハ異種鑛物ノ鑛物權ニ關スルモノデアリマス、現行鑛業法ハ鑛物ヲ鑛床ニ依ツテ區別シ、同一鑛床中ニ存在スル鑛物ハ一ノ鑛業權ヲ以テ之ヲ掘採シ得ルコトトシ異種ノ鑛床ニ存在スル鑛物ヲ掘採スル爲ニハ、別箇ノ鑛業權ヲ必要トスル建前ニナツテ

居ルノデアリマス、從テ本來カラ申シマスルナラバ、同一ノ區域ニ數箇ノ鑛業權ガ併存シ得ル譯デアリマスルガ、現行法ノ第三十一條ニ依リマスレバ、鑛區ニ重複シテ異種鑛物ノ出願ガアル時ハ、之ヲ鑛業權者ニ通知シ、鑛業權者ガ出願スレバ其ノ鑛業權者ガ優先權ヲ得ルコトトナシテ居ルノデアリマス、其ノ結果既存ノ鑛業權者ガ眞ニ當該鑛床ヲ開發スル意思ナキニ拘ラズ、徒ニ鑛業權ダケヲ取ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、斯クテハ資源開發促進ノ趣意ニモ背反スルモノト言ハネバナラスノデアリマス、ソコデ本法案ニ於キマシテハ、鑛業出願地ガ他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テハ他人ノ鑛業ニ妨害ナシト認メラルル限り、之ヲ許可スルコト致シタルデアリマシテ、之ニ依リマシテ、資源開發ノ趣旨ヲ徹底セシメムトスルモノデアリマス、唯斯ノ如ク改正致シマスル時ハ異種鑛物ノ採鑛獎勵ト云フ見地カラハ誠ニ結構デアリマスルガ、同時ニ其ノ反面ニ於テ既存ノ鑛業權者ノ作業ノ妨害ニ對スル調整方策ヲ講ズル必要ガアルノデアリマス、從テ本法案ニ於キマシテハ鑛業權者ノ登録ノ後ナル者ハ、先ナル者ノ承諾ガナケレバ、其ノ重複スル部分ニ於テハ鑛業ヲ爲シ得ザルコトト致シマスルト共ニ、鑛業權ノ登録ノ先ナル者ハ正當ノ理由ナクシテハ、承諾ヲ拒ミ得ザルコトトシ、尙此ノ承諾ニ付イテハ裁決申請ノ途ヲ開イタノデアリマス、尙登録ノ日ガ同日ナル場合ニハ、其ノ重複部分ニ於ケル鑛業ニ付キ互ニ協議ヲ爲スベキコトトシ、此ノ協議ニ付イテハ裁決申請ノ途ヲ開イタノデアリマス、以上ノ規定ニ依リマシテ、異種鑛物ノ鑛業權者間ノ作業ノ調整ヲ

圖ルノデアリマスルガ、何分ニモ鑛業ハ地下作業デアリマスルカラ、斯如キ手續ヲ經テモ、後日ニ到リ其ノ作業ガ他人ノ鑛業ニ妨害ヲ及ス場合ナキヲ保シ難イノデアリマシテ、斯カル場合ニハ主務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ妨害ノ排除、又ハ鑛業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得ルモノトシ、尙此ノ命令ニ從ハヌ場合ニハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得ルコト致シタ次第デアリマス、右申述ベマシタ事項ノ外ニモ本法案ハ鑛業警察ノ重大性ニ鑑ミマシテ、現在屆出事項トナシテ居リマス施業案ヲ認可事項ニ改メ、尙鑛業權者ガ危害防止ノ義務ヲ負フ期間ヲ、鑛業權消滅後五箇年迄延長スルコトトシ、以テ危害ノ豫防ニ遺憾ナキヲ期スルコトト致シ、更ニ罰則ニ付キマシテモ、現在ノ事態ニ對應スルヤウ刑罰ヲ適當ニ改メ、其ノ規定ヲ整備シ、此ノ方面カラモ法ノ遵守ヲ確保スルコトト致シタルデアリマス、次ニ砂鑛法中改正法律案ニ付イテ申上ゲマス、其ノ第一ハ砂鑛出願ニ關スルモノデアリマス、現行法第九條ニ依リマスレバ、砂鑛出願地ガ他人ノ所有ナル時ハ出願人ハ土地所有者ノ承諾ヲ受ケルコトヲ要シ、此ノ場合土地所有者ハ自ラ砂鑛出願ヲ爲スコトニ依ッテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ルコトトナシテ居ルノデアリマス、併シナガラ最近ノ如ク砂鑛業ガ各地ニ勃興シ、且ツ其ノ規模モ次第ニ大ナラムトスル情勢ノ下ニ於キマシテハ、銘々ノ土地所有者ヨリ承諾ヲ受ケルト云フコトハ出願人ノ立場カラモ、亦之ヲ處理スル官廳側ノ立場カラモ極メテ煩雜ナコトデアリマシテ、是ガ爲ニ砂鑛權ノ許可ガ著シク遅レル結果トナルノミナラズ現行法ニ於キマシテハ、此ノ場合ノ土地所有者ノ出願ニ優先權ヲ附與シテ居ルノデア

リマスガ、斯ノ如ク土地所有者ノ銘々ニ砂鑛採取ノ權利ヲ附與スルコトハ砂鑛ノ開發促進上、極メテ不合理ト言フベキデアリマス、一面ニ於テ土地所有者等ノ利益ガ十分ニ尊重セラレ、他面ニ於テ砂鑛權ノ設定ノ手續ガ簡易ニナルコトハ最モ望マシイコトデアリマスルカラ、本法案ニ於キマシテハ第九條ノ規定ヲ改正致シマシテ、砂鑛權ノ出願ガアツタ場合ニハ、鑛山監督局長カラ土地所有者及關係人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトト致シ、土地所有者ノ承諾ヲ必要トシナイコトニ改メタ次第デアリマス、鑛山監督局長ヨリ通知ヲ受ケマシタ土地所有者及關係人ハ、愈々砂鑛ノ採取ノ始マル場合ニハ、砂鑛法第十二條以下ノ規定ニ從ッテ補償金ヲ請求シ得ル譯デアリマスルガ、本法案ニ於キマシテハ砂鑛ノ採取ヲ終ツタ場合ニハ、砂鑛權者ハ土地ノ原狀ニ復シ、又原狀ニ復セザルニ依ッテ生ズル損失ニ對シ、補償金ヲ拂ヒ渡スベキコトトシ、土地所有者及關係人ガ之ニ對シテモ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得ルモノトシ、砂鑛權者ノ義務ヲ特ニ明カニシタ次第デアリマス、改正ノ第二點ハ砂鑛業ノ助長及監督ニ關スルモノデアリマス、砂鑛業ハ最近迄ハ比較的小規模ニ行ハレテ居ッタノデアリマスルガ、最近次第ニ大規模ナモノガ現レヤウトスル機運ニアルノデアリマス、斯カル實情ニ鑑ミマシテ、本法案ハ現行法第十七條ヲ改正致シマシテ、廣ク砂鑛業上必要ナル工作物ノ施設ヲ爲シ、土地ヲ所有シ得ルコトヲ認ムルコトトナシ、以テ其ノ助長ニ資スルコトト致シタルデアリマス、更ニ之ヲ監督ノ方面ヨリ見マスナラバ、是等ノ大規模ナ砂鑛業ニ對シテハ或ハ施業案ヲ提出セシメ、之ニ依ッテ取締ヲ

行ッテ行ク必要ナル場合モ有リ得ベク、又施業案ノミナラズ、砂鑛業ニ付テモ鑛業警察規則ト同趣旨ノ取締規則ヲ設ケ、之ニ依ッテ危害豫防ノ取締ヲ爲スコトモ必要デアリマス、而シテ砂鑛業ノ作業ノ爲ニ、他人ニ損害ヲ及シタ場合ニハ、鑛業ト同様ニ、砂鑛權者ニ對シテ、其ノ賠償義務ヲ負ハシメルコトモ亦必要デアリマス、更ニ砂鑛業ガ大規模トナルニ從ッテ、之ニ從事スル勞働者ノ保護ヲ圖ルコトモ肝要デアルト思フノデアリマス、本法案ニ於キマシテハ、是等ノ事情ヲ考ヘマシテ、鑛業法中ノ條文ヲ砂鑛業ニ準用スルコトト致シタ次第デアリマス、尙本法案ニ於キマシテハ、罰則ニ付テモ之ヲ鑛業法ト同様ノ趣旨ニ依リマシテ改正ヲ致シマシタ、鑛業法中改正法律案及砂鑛法中改正法律案ノ内容ノ大綱ハ大體以上ノ通りデアリマスルガ、鑛業法中改正法律案ニ付キマシテハ衆議院ニ於テ修正ガザイマシタ、ソレハ同法案ノ附則第十條ニ付テデアリマス、十條ニ於キマシテハ、本法案施行當時現ニ存スル試掘權ノ存續期間ハ本法案施行ノ日カラ四年ト定メ、唯石油ニ付テハ其ノ特殊事情ヲ斟酌シテ、主務大臣ノ認定ニ依リ、四年以内其ノ期間ヲ延長シ得ルコトト致シタコトハ曩ニ申述べタ通りデアリマス、然ルニ衆議院ニ於テハ石油以外ノ鑛物ヲ目的トスル試掘權ニ付テモ已ムコトヲ得ザル事由アリト認メラルル場合ニハ、主務大臣ニ於テ二年以内其ノ期間ヲ延長スルコトニ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、政府ニ於キマシテハ現在試掘權ヲ持ッテ居ル者ト雖モ、總テ四年ノ法定期間内ニ試掘ヲ爲スベキモノデアルト考ヘルノデアリマスルガ、政府ハ兩院ニ於キマシテ本修正案

ニ決定致サレマシタ場合ニ於テハ、之ヲ尊重スル積リデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ兩案ノ質問ニ移リマス

○男爵安場保健君 私ハ議事進行ニ付テ伺ヒタイノデスガ、今日此ノ質問ヲズット續行爲サテ討論迄ドソノ御進行ニナル御意思デスカ、ソレトモ此ノ參考書類等ヲ見ル期間ヲ御與ヘニナル御考デスカ

○委員長(子爵保科正昭君) 無論參考書類ノ期間ハ與ヘル積リデ居リマスルガ、今日差當リ質問ガ既ニオアリノ方ハ此ノ際質問サレタ方ガ將來ノ時間ノ節約ニモナルカト考ヘテ今申上ダテ譯デアリマス

○男爵安場保健君 詳細ノ質問ハ先ヘ保留シテ置キマシテ、二三只今ノ御説明ニ付テ質問致シタイと思ヒマス

○委員長(子爵保科正昭君) 差支ヘゴザイマセス

○男爵安場保健君 此ノ試掘權ヲ四箇年デ取消スト云フ此ノ試掘ト云フコトノ意味合ヲハッキリ一ツ説明ヲ願ヒタイノデスガ、ドノ程度ヲ試掘ト御認メニナッテ居ルカ、唯試掘ガ四箇年以内ニ終ラナクテ、何モ著手シナイデ居ルモノハ取消スト云フ意味ナンデアリマスガ、ソレトモ試掘ハシテ居ッテモ四年經ッたらバ取消スト云フ意味ナノカ、ソコ等ガハッキリシマセヌガ、御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 試掘權ノ期間デゴザイマスルガ、是ハ現行法第十八條ニ於キマシテ、試掘權ノ存續期間ハ登錄ノ日ヨリ二箇年トス、斯ウ云フ風ニナッテ居リマシテ、試掘權ハ總テ二箇年デ終了スルコトニ

相成ッテ居リマス、ソレハ試掘ト云フ行爲ヲ爲シテ居ルト居ラストニ拘ラズ二年デ終了致スコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ第三十三條ノ二ハ只今提案ノ具體的理由説明ノ中ニモゴザイマシタ通り、試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ礦物ニ付云々ト云フ風ニ書イテアリマシテ、唯元ノ試掘權者ニ對シテ優先權ヲ賦與シテ居ルト云フダケデアリマシテ、第三十三條ノ二ニ依テ同一ノ地區ニ同一ノ礦物ヲ目的トスル試掘權ヲ出願爲サレマシテモ新ニ設定セラル、試掘權ハ前ノ試掘權ノ延長デハゴザイマセヌ、從ヒマシテ全然別個ノ權利ト相成ルノデアリマス、ソコデ本改正法律案ニ於キマシテ此ノ第十八條ノ規定ヲ改メマシテ、試掘權ノ存續期間ハ登錄ノ日ヨリ四箇年ト云フ風ニ改メマシタガ、是ハ四箇年デ試掘權ヲ取消ストカト云フ意味ハ毛頭ゴザイマセヌ、唯端のニ申上ダマスト、第十八條ノ二年ガ四年ニナッタト云フダケノコトデゴザイマス、ソコデ現行法ト同様ニ、其ノ四年ノ間ニ試掘行爲ガ始マッテ、ソレガ四年ヲ終ル時ニ繼續サレテ居ラウト居ルマイト、總テ試掘權ハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ消滅スル、斯ウ云フ解釋デゴザイマス、隨ヒマシテ試掘ヲシテ居ラナカッタカラ四年經過スルコトニ依ッテ試掘權ガ消滅スルコト云フコトハ、其ノ試掘行爲ガ行ハレテ居ルカ居ラナイカニ依ッテ差異ハゴザイマセヌ、然ラバ試掘トハ如何ナル行爲ヲ、或ハ如何ナル内容ヲ有スルモノデアルカト云フ問題デゴザイマスガ、試掘ト云フノハ只今提案理由ノ具體的説明ノ中ニモゴザイマシタヤウニ、礦區ノ中ニ礦物ガ有ルカ無イカ、又ハ如何ナル狀態ニ於テ存シテ居ルカ、又如何ナル種類ノ礦物デ

アツカト云フヤウナコトヲ調査スルコトヲ内容トスルモノデアリマス、而シテ有所權ノ解釋カラ參リマスル、土地所有權ハ御承知ノ通りニ、土地使用、或ハ收益ヲ取得スルト云フコトデアリマスルカラ、其ノ土地ノ中ニ包含サレテ居ルモノハ總テ土地所有權ノ内容ヲ成スモノデハナイカト云フ解釋ガ起リマス、鑛業法ニ於キマシテハ、其ノ土地所有權カラ全然離レタ、一ツノ物權の權利ヲ設定シタモノデアリマシテ、土地所有權ニ何等ノ關係モナク、又原則トシテ掣肘ヲ受ケルコトナク、只今申上ダマシタ礦物ノ調査ヲ爲スコトヲ内容トスル權利デゴザイマス、尤モ英米法等ノ系統ニ於キマシテハ、此ノ鑛業ヲ爲スコトハ、土地所有權ノ效果トシテ取扱ッテ居ル法令モゴザイマスルガ、「ドイツ」法特ニ「ザクセン」、「プロイセン」、又「フランス」法ト云フヤウナ系統ノ法律ハ、概ネ我が國ノヤウニ土地所有權ノ離レタ權利ヲ設定スルコトト云フ風ヲ取扱ニナッテ居リマス、採掘權ト申シマスノハ、土地ノ中ニ埋藏セラレテ居リマスル礦物ヲ掘採スルコトヲ内容トスル權利デゴザイマスカラ、ソコニ於テ片方ハ調査ヲ設定スル權利、片方ハ具體的ニ存在シテ居ル礦物ヲ掘採シテ行クト云フ權利デアリマシテ、ソコニ本質的ノ差異ガゴザイマス、ソコデドノ程度ノ規模ノモノヲ試掘ト云ヒ、ドノ程度ノ規模ノモノヲ採掘ト稱スルカト云フコトガ、是ガ具體的ノ場合デナイトナカ、區別ガ付キマセヌ、又採掘區ニ於キマシテハ、礦物ヲ探索調査スルト云フコトモ屢、行ハレマス、要ハ採掘權ハ試掘權ノ許サレタ箇々ノ内容ヲ勿論包含シテ居ルト云フ建前デアリマス、マア普通極ク常識的ニ申上ダ

マスルト試掘權ハ礦物ノ露頭、或ハ原石、或ハマア礦物ノ存在スル俗語デ香ヒト申シマスガ、サウ云フヤウナモノガアツカ場合ニ、果シテドウ云フ種類ノ礦物ガ如何ナル狀態ニアルカト云フコトヲ調ベル行爲デアリマスルカラ、比較的之ニ從事スル人數モ少イシ、又設備等モ簡單ナ譯デゴザイマス、採掘權ハ是ト根本的ニ異リマシテ、一定ノ設備ヲ設ケテ繼續的ニ礦物ヲ採掘ヲ爲スト云フコトガ常識デゴザイマスルガ、併シナガラ採掘權ト雖モ三人、四人ノ礦夫ヲ使ッテ極ク小サクヤッテ居ルモノモゴザイマス、又試掘ガカラト申シマシテモ、十人、二十人ノ礦夫ヲ使ッテヤッテ居ル者モゴザイマシテ、必シモ少人數デ調査、或ハ採掘ヲスルモノトハ限リマセヌ、相當多數ノ人夫、或ハ礦夫ヲ使ヒ、相當長イ月日ニ亘ッテ土地ヲ掘リ、或ハ鑛脈ヲ追フト云フヤウナ場合モゴザイマス、御參考ニ迄、試掘權ト採掘權ノ差異ヲ簡單ニ申上ダマス、其ノ一ハ採掘權ニハ抵當權ノ設定ヲ許シテ居リマスガ、試掘權ニハ之ヲ許シテ居リマセヌ、是ハ鑛業法第十七條デアリマス、ソレカラ第二ハ採掘權ハ期限ガナイ、即チ無期限デゴザイマスルケレドモ、試掘權ニハ存續期間ノ制限ガゴザイマス、現行法デハ二年デアリマス、是ガ鑛業法第十八條デアリマス、第三ハ試掘ノ出願若シクハ名義變更ハ鑛山監督局長ニ願ヒ出テ處理スルノデアリマスルガ、採掘ニ付キマシテハ商工大臣ニ其ノ願出ヲ爲スト云フコトデアリマス、是ハ鑛業法第二十一條、及第二十二條デゴザイマス、第四ハ採掘出願人ニハ出願地ノ礦物存在ノ證明ヲ爲ス義務ガゴザイマスルケレドモ、試掘出願人ニハ其ノ義務ガゴザマセヌ、是ハ鑛業法第二十三條デゴザイマ

ス、第五ハ探掘鑛區ニハ訂正、分割、合併ノ出願ヲ認メラレテ居リマスルケレドモ、試掘ノ場合ニ於キマシテハ是等ノ出願ヲ認メテ居リマセヌ、是ハ鑛業法第二十五條、第二十六條、第三十五條、第三十六條、第三十七條等デゴザイマス、第六ハ探掘ニ付キマシテハ鑛業施業案ノ作成ヲ必要トスルモノデアリマスルケレドモ、試掘ニ付キマシテハ之ヲ必要トシナイト云フコトデアリマス、是ハ鑛業法第四十四條デゴザイマス、第七ハ探掘鑛區ニ於キマシテハ探掘シタ鑛物ノ處分ハ自由デゴザイマス、尤モ是ハ諸般ノ統制上カラ來ル制限ハゴザイマスルガ、鑛業法ノ建前ハ原則トシテ探掘權者ガ掘採シタ鑛物ノ處分ハ自由デゴザイマス、然ルニ試掘權ニ於キマシテハ、試掘權者ガ試掘ノ結果、鑛物ヲ得タ場合ニ於キマシテハ其ノ鑛物ノ自由處分ヲ許サレテ居リマセヌ、即チ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケナケレバ試掘中ニ掘採シタ所ノ鑛物ノ處分ガ出來ナイト云フ建前ニ相成ッテ居リマス、是ハ鑛業法第四十八條デゴザイマス、第八ハ鑛區稅デゴザイマスルガ、試掘權ニ付キマシテハ鑛區稅ハ一千坪ニ付キマシテ毎年三十錢デゴザイマスガ、探掘權ニ付キマシテハ一千坪ニ付キマシテ毎年六十錢ト云フコトニ相成ッテ居リマス、是ハ鑛業法第八十三條デゴザイマス、第九ハ探掘權者ハ技術管理者ノ選任、又ハ改任ヲ命ゼラレコトガアルノデアリマス、處ガ試掘權ニハ技術管理者ノ制度ガゴザイマセヌ、是ハ鑛業法第七十三條デゴザイマス、第十ハ探掘權者ハ鑛夫雇傭勞役規則ヲ作成スル義務ガゴザイマスルガ、試掘權者ニハ其ノ義務ガゴザイマセヌ、是ハ鑛業法第七十五條デゴザイマス、尤モ鑛

夫雇傭勞役規則ノ勞役ト云フ字ガ現在ノ實情ニツグハナイノデ、此ノ規則ノ文字ハ多少變ルカト存ジマスルガ、現行法規ノ建前デハサウ云フ風ニ相成ッテ居リマス、第十一ハ試掘權ハ單獨ニ財團ニ組入レルコトヲ得ナイノデアリマスルガ、試掘權ハ之ヲ組入レルコトガ出來ルト云フ風ニ相成ッテ居リマス、是ハ鑛業抵當法第二條デアリマス、第十二ハ出願手數料ハ試掘出願ニ於キマシテハ五十圓デゴザイマスルガ、探掘ハ七十五圓デアリマス、又試掘ノ登録稅ハ百圓デゴザイマスルガ、探掘ノ登録稅ハ二百圓デゴザイマス、是ハ「鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手數料ノ件」ト云フ勅令デアルト存ジマスガ、其ノ第一條ト、ソレカラ登録稅法第十四條デゴザイマス

久ニ續イテ行キマシタガ爲ニ、今度ハ之ヲ緩メテ、倍ニ爲シテ四年、四年ノ間ニハモウ當然其ノ試掘ハ探掘權ヲ出シ得ル時ダト、斯ウ思ヒマシテ、モウ四年掛レバ十分試掘ノ目的ハ達セラレル、斯ウ云フ風ニ改正シタヤウナ次第デアリマス、ソレデ其ノ間ニ探掘權ヲ出シマスレバ、事情已ムヲ得ザル場合ハ是ガ四年ヲ切レマシテモ、マア默認シテ置ク積リデアリマシタガ、衆議院ニ於テ又二年間延長ニナツタ譯デアリマス、六年ノ間ニハモウ當然探掘ニ轉ズベキモノデアラウト云フ立場カラ、斯様ニ變更シタ譯デアリマス

論ノコト、試掘權者トシテモ不適格者デア
ル、適格ヲ有シナイ者デアルカラ、其ノ者
ニハ再ビ其ノ同一地區ニ於テ同一ノ鑛物ヲ
目的トスル試掘權ヲ設定シナイト云フ明文
ガゴザイマス、處ガ是ハサウ云フ明文ヲ見
マシテモ拔道ガ澤山ゴザイマス、例ヘバ同
居ノ家族ノ名前デ願出ルトカ、會社デア
ラバ社員ノ名前デ願出ルトカト云フヤウ
ナコトガアリマスガ、實質上非常ナ拔道ニ
相成リマスガ、其ノ拔道ハ齊シク認メラレ
テ居ル所デアリマス、サウ云フ結果ニナリ
マス、我が國デ此ノ鑛業法改正調査委員
ヲ開イテ、色々各方面カラノ御意見、或ハ
又御智慧ヲ拜借シテ審議ヲ重ネタノデア
リマスルガ、サウ潔癖ニ一遍試掘權ヲ持ッ
テ試掘ヲ爲シ得ル機會ヲ擱ミナガラ、四年モ
試掘ヲシナイデ居タト云フ人ニハ、試掘權
ヲ與ヘナイト云フ程潔癖ニヤラスデモ宜シ
イデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトデ、結
局三十三條ノ二ハ原案デハ削リマシタガ……
此ノ法律案デハ削リマシマスルガ、先願主
義ヲ探ッテ居リマスルカラ、試掘權ノ期間滿
了ノ翌日ニ一番早く出願サレ、バ其ノ人ガ
先願者トナツデ、再ビ其ノ土地ニ付テ……其
ノ地域ニ付テ同一ノ鑛物ヲ目的トスル試掘
權ヲ得ルコトモ出來ルノデアリマス、其ノ
場合ニ、第三者ノ出願ノ方が先キデアッタ
ラバ、其ノ一番先キノ出願人ガ試掘權ヲ貰
フ、若シ同時刻ノ出願デアッタラバ、同時
刻ノ出願ガ二人以上アリマシタ場合ニ於テ
ハ抽籤ニ依ッテ其ノ第一番目ヲ決メル、斯ウ
云フ風ニ相成ッテ居リマス、其ノ試掘權ガ極メ
テ短イ期限シカ與ヘラレテ居ナカッタト云フ
立法例ハ今日デモ外國ニ澤山アリマス、即チ
我が國ノ鑛業法ノ母法ト云ハレテ居リマス

○男爵安場保健君 只今ノ御説明デ大分
分ツタ點モアリマスノデスガ、私ノ御尋ネ致
シタイコトハ、今迄ノハ、探掘權ハ二箇年
デ更新シテ、新シイ探掘權ノ二箇年ガ第三
十三條ノ二ニ依ッテ更新サレテ行クヤウナ、
拔道ト云ヒマスガ、權利存續ノ手段方法ガ
法規ノ中ニアツタノデアリマスガ、先程カラ
同ッテ居ル所ニ依リマス、此ノ三十三條ノ
二ヲ停止シテ、其ノ代リ四年ニスルト云フ
ヤウナ御話ニ承ツタノデアリマスガ、サウス
ルト、三十三條ノ二ガ無クナリマス、四
年間ニ試掘ヲ終ラナケレバ、其ノ同一人ハ
將來其ノ鑛區ニ對スル試掘ノ權利ヲ失フノ
デアリマスカドウデアリマスカ

○政府委員(加藤鑛五郎君) 只今安場男爵
ノ御質問デゴザイマスガ、私カラ其ノ大略
ヲ申上ゲマス、先刻説明ノ時ニモ申上ゲ
マシタ如ク、試掘ハ探掘ノ準備行為ニ過
ギスノデアリマシテ、今迄ハ二年デズット永

○男爵安場保健君 先程、私ノ伺ヒ違ヒカ
モ知レマセヌガ、同一種屬ノ鑛物ニ對スル
試掘ハ許可シナイト云フヤウニ伺ッタノデ
アリマスガ、サウデアリマスカ

○政府委員(小金義照君) 試掘權制度ノ本
體ハ、何遍モ今出マシタガ、探掘ノ準備行
爲デアル、斯ウ云フノデアリマシテ、之ヲ
立法ノ沿革的ニ申上ゲマスルト、又他ノ外
國ノ立法例等ヲ參照致シテ見マスルト、試
掘權ハ原則トシテ極メテ短カイ期間シカ與
ヘラレナイノデアリマス、今安場男爵ノ御
言葉ノ中ニ、四年ナラ四年ノ期限ガ來テシ
マヘバ、第三十三條ノ二ト云フヤウナモノ
ガ無クナツタ曉ニ於テハ、同一ノ地區ニ付テ
同一ノ鑛物ヲ目的トスル者ハ、前ニ試掘權
ヲ持ッテ居ッタ者ハモウ許サレナイカト云フ
御疑念ガ出タヤウデアリマスガ、慥カ「フラ
ンス」ノ法律デアツタカト存ジマスルガ、明
瞭ニ其ノ點ヲ禁止シテ居ル法律ガゴザイマ
ス、即チ一人ノ人ガ同一ノ地區ニ於テ試掘
權ヲ持ッタト、其ノ者ガ試掘ヲ完了シナイヤ
ウデアツタナラバ、是ハ鑛業權者トシテハ勿

「トン」ニシタラ宜イカ、或ハ何百萬「トン」ニシタラ宜イカト云フヤウナ本格的ノ採掘ニ著手スル前ノ中間的ノモノガ多イノデア

リマシテ、今日ノ試掘鑛區ノ中ニハ既ニ金
ノ掛カタヤウナモノハ是ハ相當鑛物ノ存
在ガ明カニナツテ居ルモノバカリト申シテ
差支ゴザイマセヌ、唯弊害ハ場合ニ依ツテハ

認メザルヲ得ナイノデアリマス、唯山ヲ化粧スル、飾ルト云フヤウナ實例ガアリマス、大シテ良イ鑛區デナイニモ拘ラズ、山ヲ轉

賣スルコトヲ目的トスルヤウナ方々ニ於テハ非常ニ見榮エヲ良クスルト云フヤウナ細工ガ施サレテ居ル場合ガアリマスルガ、原

則トシテ大體試掘ハ比較的簡單ナ施設デア
ルト云フノガ通例デアリマス、唯相當金ヲ
掛ケテヤルヤウナモノガ、アルコトハ確實

デアッテ、或程度迄ノ鑛物存在ハ證明サレテ
居ルト云フヤウナモノガ、殆ド總テデア
ルト申上デテ差支サイノデアリマス、ソ
ロ

相當廣範圍ノ數箇ノ鑛區ニ互ツテ一遍ニ試掘スルヤウナ場合モ無論デアルト思ヒマス

居ル方向、或ハ露頭ヲ繋ギ合セテ當然斯クアルデアラウト云フ判斷ガ付ク場合ニハ、

今日ノ鑛業法ノ建前カラハ鑛物ノ存在ヲ證
明ニ一應ナルト云フ風ナ取扱ヒラシテ差支
ナイト存ジマス、從ツテ試掘ニ非常ニ大キナ

財力、又ハ相當多額ノ金ヲ要スル場合モ絶
無トハ申サレマセヌガ、ソレハモウ採掘權
ニシテモ宜イ場合ノ試掘ト云フヤウナモノ

ニ多イノデゴザイマス
○男爵安場保健君 例ヘバ石油ノヤウナモノハサウスルトドウ云フコトニナルノデセ

ウカ、相當アルト云フ見込デモ、「ボーリン
グ」ヲ入レテ相當試掘ヲ行ッテ、實際ニ出

ナイ内ハ試掘デアルノデハアリマセヌカ、ソレトモ確カニ此處ハ石油ノアル層ダト決レバ、ソレハ採掘デ御取扱ニナル考ヘデアリマセウカ

○政府委員(小金義照君) 只今申上ゲマシタノハ、全般的ナ解釋、竝ニ意見デゴザイマスルガ、石炭等ノ如キモノハ大體試掘ノ内ニ……

○男爵安場保健君 私ノ申上ゲタノハ石油デス

○政府委員(小金義照君) 試掘ノ内ニ大體分ルモノデアリマシテ、問題ハ石油デアリマス、是ハマア背斜軸ノ關係デ、ナカノ調査ガ困難ナ點モゴザイマス、殊ニ日本ノ現存及將來ノ石油鑛業ヲ考ヘマスルト、相當深度ガ深クナルノデハナイカ、斯ウ云フ風ヲ見透シモ付イテ居リマス、ソコデ今回ノ鑛業法中改正法律案ニ於キマシテハ石油ヲ特別ニ扱ヒマシテ、現行法……此ノ法律施行當時現ニ存スル石油ノ試掘權ニ付テハ、更ニ四年間延バシテモ宜シイ、必要ガアレバ之ヲ延長スルト云フ取扱ニ致シテ居リマスガ、只今ノ御言葉ノ中ニアリマシタ石油ノ存在スルデアラウト云フ見込ノアルモノニ付キマシテハ採掘權ニスルカドウガ、此ノ取扱デゴザイマスガ、差當ッテハサウ云フモノハナカノハッキリ判斷ガ出來ナイト云フ場合ニハ、八年間ダケハマア試掘權續ケラレルノデゴザイマス、是ハ實際家ノ意見モ徴シマシタガ、八年アレバ十分デアル、此ノ法律施行後新タニ設定サレタ試掘權區ニ付テハ四年アレバ何トカヤッテ行ケルト云フ見込デアリマス、ソコデ今回ノ改正法律案中、更ニ第二條ノ改正ガアリマシテ、含油層ト密

接ナ關係アル可燃質天然瓦斯」ト云フヲ改メテ、「炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯」ト云フ風ニ此ノ石油ト看做サレル瓦斯ノ取扱ヲ非常ニ廣範圍ナモノニ致シマシタ爲ニ、此ノ石油ト看做サレル瓦斯ガアレバ、場合ニ依ッテハ石油ノ存在ノ前提トシテ取扱ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○岡喜七郎君 只今安場男爵ノ御尋ネニ對シテ、色々詳シイ御説明ガアリマシテ、大要ハソレデ分リマシタノデアリマスガ、是ハ只今ノ其ノ試掘權ノ二年ト云フノ四年ニサレルト云フコトト、三十二條ノ關係デゴザイマスガ、現在ノ儘ニシテ置カレテハ何カ非常ナ不便ヲ御感ジニナルノデセウカ、又事務ノ御整理上非常ニ混亂デモ致スモノデアリマセウカ、又其ノ結果トシテ鑛物ノ所謂出方ガ遅レルトデモ云フ御懸念ガアルノデアリマセウカ、チヨット只今迄ノ御説明デハハッキリシタ御改正ノ主點ガドウモ私共不敏ニシテ能ク擧ミ兼ネル心持ガ致シマス、ドンナ御所見デアリマセウカ、モウ一度簡單デ宜シウゴザイマスカラ要點ダケヲ一ツ……

○政府委員(加藤謙五郎君) 只今ノ儘デアリマスト云フト二年過ギマスト云フト、又其ノ試掘權者ガ優先的ニ其ノ權利ヲ得ル、又二年過ギマスト又優先的ニ得ルコトニナリマスノデ、永久ニ試掘權ヲ持ッテ、眞ニ試掘ノ目的トセズシテ、或ハ惡意ニ解釋シマスレバ權利ノ賣買ノミヲソレニ依ッテヤルト云フヤウナ事例ガ多アルノデアリマシテ、眞ニ此ノ採掘ト云フ趣意ニ副ハヌコトガアリマスガ故ニ、之ヲ今度サウ云フコトヲ打切ル爲ニ、此ノ改正ヲ致シタヤウナ次

第デアリマス

○岡喜七郎君 何レ鑛區ノ有望ナモノハ現在ノ法律ノ通りデモ、二年ノ間ニ採掘權ヲ得ルヤウナ運ビニ無論ナルグラウト思ヒマス、其ノ他ノ比較的有望デナイモノハマアドウデモ宜イ、詰リ採掘シテモ一向鑛物モ出ナイト云フヤウナモノデアレバ、何カ御取扱上ニ面倒ガナケレバ、一向現行法デモ私ハ差支ナイデヤナイカト、斯ウ思ハレル、況ヤ先刻鑛產局長ノ御話ニ依ルト、四年ニナリマシテモ、四年ガ切レタラビッタリト止メルノデハナイ、四年ノ期限ガ過ぎテ、直グニ翌日出願スレバ、何人ガ出願シテモ先願者ニ許可サレルト言ヘバ、矢張り同ジコトガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ今一ツ安場男爵ノ言ハレタ石油ノヤウナモノハ別トシマシテモ、非常ナ道路交通ノ不便ナ山奥ニ入ッテ、廣イ何カノ鑛區ヲ試掘スル、ナカノ期限ガ掛ッテ、今少シスレバ目的ヲ達シラカニ判然スルト云フヤウナ場合ニ、四年ニナッテソレデ出願シタ者ハ、權利ヲ無クシテシマフト云フコトモ、考慮シテヤラナケレバナラヌ問題デハナイカト思フノデアリマス、成ル程澤山アル中デハ、早く出來サウナモノヲ打棄ッテ、或ハ其ノ權利ヲ賣買シテ居ルヤウナモノモアリマセウガ、眞ニ大キナモノニナリマスレバ、相當ナ期限ヲ見ルノガ順當デハナイカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、私ハ現行法デサウ差支ハナイノデヤナイカト考ヘマス、是ハ併シ意見ノ陳述ニナリマスカラ、尙能ク條文等ヲ見マシテ、更ニ御尋ヲ申上ゲルカモ知レヌト考ヘマス、詰リ現行法ニシテ置イテ、サウ不便ハナイモノデヤナイカト、チヨット素人考デ考ヘルノデスガ、私意見ニ

ナリマシタ點ハ御答ヲ得ヨウトハ考ヘマセヌ

○男爵安場保健君 私ハサッキノ私ノ質問ガハッキリ御答デ水解シタト云フ譯ニ行カナイヤウニ考ヘマスガ、御答ニナッタノカモ知レマセヌガ、ハッキリシナイノデアリマスガ、四箇年デ打切りニナッテ、第三者ガ同ジ鑛區ニ對シテ出願スルコトハ差支ナイデスカ

○政府委員(小金義照君) 差支ゴザイマセヌ、寧ロ立法例等カラ言ヒマス、第三者ニ出願サセルト云フ方ガ多イノデアリマシテ、本人ハ試掘期間中ニ試掘モセズ、又試掘モ出來ナカッタト云フヤウナモノデアリマスレバ、鑛業權者トシテ重大ナル缺格者デアルト云フヤウナ意味カラ、本人ニ出願サセナイト云フ立法例ハゴザイマスガ、第三者ガ出願出來ナイト云フ立法例ハゴザイマセヌ、第三者ヲ排除シタモノガ、即チ此ノ現行法第三十三條ノ二デアリマシテ、世界無比ノ立法デゴザイマス

○大西虎之介君 只今ノ御説明ヲ承リマシテ、私ハ其ヲ試掘權ノ二年ヲ四年ニスルト同時ニ、第三十三條ノ二ヲ削リマシテ、同一鑛區ニ付テ試掘權者ガ更新ハ致シマスガ、引續イテ殆ド永久的ニ試掘權ヲ有スル、之ヲ廢止スルト云フゴトハ、試掘權ノ本來ノ性質ニ鑑ミマシテ、今度ノ改正ハ至極妥當ダト考ヘテ居ルモノデアリマスガ、唯一點多少實際上不便デハナイカト思フ點ガアルノデ、ソレニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレハ現行法ニ依リマシテモ、試掘權者ガ試掘權ノアル間ニ十分ニ探鑛致シマシテ、之ヲ採掘ニ轉願スル、其ノ採掘ノ轉願ヲ出シマシテ、ソレハ受理ハサレマシタガ、

現狀相當試掘權ノ願出モ、或ハ探掘權ノ願出モ多イ結果カト思ヒマスガ、監督局ノ方ノ手ガ不足サレマシテ、現在出願致シマシテカラ許可ニナリマス迄ニ、一年二年三年或ハ四年ト云フ風ナ相當ノ期間ヲ要シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、今回假ニ是ガ四年ニナリマシテモ、四年ノ初期ニ之ヲヤルコトハ出来マセヌノデ、ズット十分ニ調査致シマシタ結果出スト致シマス、結局試掘權ガ切レタ後ニ未ダ探掘權ノ許可ヲ得ナイト云フ、斯ウ云フ狀態ガ頻々トシテ起ルト考ヘラレマスガ、サウ致シマシタ場合ニ、ドウ云フ風ナ法律上ノ地位ニナルカト申シマス、若シ其ノ場合ニ試掘權ガ切レタ場合ニハ、唯探掘權ノ先願ヲシテ居ル、斯ウ云フコトダケニ法律上ノ地位ガナルト思ヒマスガ、サウ致シマシタ場合ニ、現在デゴザイマス、試掘權者ハ十分試掘ヲ致スト同時ニ、其ノ試掘ニ依ッテ得タル鑛石ヲ、監督局長ニ出願シ其ノ許可ヲ得テ處分ヲスルコトガ出来ルヤウニナッテ居リマスガ、是ハ試掘權者トシテノ地位ガアルカラ處分權ガアルノデアリマシテ、許可ヲ得タ場合ニ處分權ガアルノデゴザイマシテ、今回ノ如ク四年デ打切ラレマシテ、試掘權者ガ今度ハ探掘ノ先願者ト云フ立場ニ立チマス、假ニ試掘ヲ繼續シテ、其ノ得タル鑛石ノ處分權ガナクナッテ、一時仕事ヲ中止スル、斯ウ云フ狀態ガ起ルト思ヒマスガ、サウナリマシタ場合ニハ、此ノ法案或ハ重要鑛物増産法等ニ竝ベラレテ居リマス鑛山ヲ開發ラスルト同時ニ増産ヲシタイト云フ、斯ウ云フ法ノ精神ニ背反スルヤウニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 誠ニ御尤モナ點デゴザイマシテ、其ノ間ドウ處置シテ宜シイカト云フコトヲ、立法技術的ニ十分調査致シマシタガ、ナカ／＼法律トシテハキリ書キ分ケルヤウナコトモ出来マセヌ狀態デゴザイマス、是ハ今大西サンノ御言葉ハ、實ハ現行法ニモ其ノ惱ミガゴザイマス、唯大西サンハ將來四年デ打切ルカラ、澤山サウ云フモノガ出ルダラウガ、ソレハ極メテ混雜ヲ來スノデハナイカト云フ趣旨ノ御質問ト拜シマシテ、誠ニ御尤モト存ジマス、現行法デハ第三十三條ノ二ト云フノガアリマシテ、試掘權ガ終ッテモ、其ノ終ッテ後十日以内ニ出願スレバ、其ノ人ハ再び其ノ土地ニ付テ其ノ鑛物ヲ目的トシタ試掘權ヲ得ルノデアリマスカラ、其ノ間特ニ面倒ナ出願ヲナサリサヘシナケレバ、其ノ期間ハ實ハ知レタモノデアリマス、唯今迄ノ五十萬坪ニ加ヘテ、妙ナ所ヘ又三萬坪カ五萬坪ガクッ付ケラレマシテ、其ノ三萬坪五萬坪ノ爲ニ、各方面ニ關係シ、鑛業權ノ有無トカ、或ハソレガ御陵ニカカッテ居ルト云フヤウナ、其ノ方ノ交渉等ノ爲隨分期間ガ延ビルコトガアリマスガ、原則トシテ試掘權者ガ第三十三條ノ二ノ優先出願ヲシタ場合ニ於キマシテハ簡單ニ片ヅクノデアリマス、從ヒマシテ試掘權ヲ持タナイ期間ト云フモノハ非常ニ少イノデアリマスカラ、其ノ間ニ作業ヲ中止スルコトモ大シタ損害ニモナラヌシ、又實質上ヤッテ居ッテモ、鑛物ノ處分ガ許可ヲ受ケレバ出来ルノデアリマスカラ、其ノ間マア實質上大シタ支障ハナイダラウト云フコトニ相成ッテ居リマスルガ、併シナガラ之ヲ法律ノ正面カラ解釋致シマスルト、此ノ第三十三條ノ二ニ依ル優先出願

ニ付キマシテモ、前ノ二年ノ試掘權ノ期間ガ切レテカラ出願スルノデアリマスカラ、法律上如何ニ早ク處置ヲシテモ、ソコニ試掘權ノ繼目ノ「ギャップ」ガ出来ルノデアリマス、處ガソレヲ法律上非常ナ嚴格ナ解釋ヲ致シマス、例ヘバ坑内トカ、或ハ坑道ノ水ヲ「ポンプ」デ汲ミ出スト云フヤウナコトモ止メナケレバナラヌノデハナイカ、斯ウ云フ疑義ガ現在デモアリマス、ケレドモ先ヅ是ハ次ノ第三十三條ノ二ヲ援用シテ出願サレルヤウナ方ニハ、サウ云フ嚴格ナ意味ノ鑛業ノ停止ヲ命ズル必要モゴザイマセヌノデ、大體先ヅ非常ニ新規ナ工事デモヤラナイ限りハ、是ハマア謂ハバ法律ガ放任シテ居ルト云フ形ヲ取ッテ、現實ノ問題ヲ處理シテ居ルノデアリマス、唯今後ハ此ノ改正法律案ガ法律トナッテ施行サレタ場合ニ於テハ、四年ト云フノガ相當頭ヲ擡ヘテ出テ來マスノデ、其ノ間ノ扱ニ付テハ相當ナ準備ヲ要スルモノト存ジマス、ソコデ四年間ノ内ニ探掘願ヲ御出シニナツタ場合ニ於キマシテハ、先ヅ第二十三條ノ鑛物ノ存在スル證明ガアリ、サウシテ又隣接鑛區、其ノ他ノ關係カラ、探掘鑛區ニシテモ宜シイト云フ認定ノ付クモノハ探掘權ヲ設定スルト云フコトニナリマス、其ノ際ニモ新タニ又少シバカリノ鑛區ヲ附加ヘタ御出願等ガナケレバ、是ハ相當簡單ニ片付クモノデゴザイマス、然ラバ現在アル約二萬ノ鑛區ノ中、ドノ位ノ「パーセンテージ」ニナルカト云フ問題デアリマスルガ、是ハ二萬前後ノ試掘鑛區ノ中、石炭等ニ於テハ探掘鑛區ヲ設定スルノ少シモ疑念ノナイト云フヤウナモノガ相當ゴザイマス、ソレカラ又金屬鑛山ニ付キマシテモ、現在法律ノ第三十三條ノ二ガアリ

マスレバ、ソレデ試掘權ノ儘デ鑛物ノ處分願ヲ出シテ續ケテ居ラレルノモ相當數ゴザイマス、マア非常ナ大雜把ナ大數觀察カラ見マシテ、マア半分ソコ／＼位ハサウ云フモノガアルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ比較的試掘權者ガ探掘願ヲ御出シニナツタ場合ニ於キマシテ、混雜スル程度ハ非常ニ減少スルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ現狀ニ於キマシテハ大西サンノ御言葉ノ通り試掘權者ガ何等ノ變更ヲ加ヘズシテ、探掘願ヲ御出シニナリマシテモ、相當ナ日數ガ掛ッテ居ルノハ是ハ遺憾ナガラ事實デアリマス、何故サウ云フ正直ニ、ト申シマスルト言葉ガ穩當ヲ缺カカモ知レマセヌガ、試掘鑛區ヲ其ノ儘探掘鑛區ニシテ御出シニナツタノニ、ソレダケノ日時ガ掛ルカト申上ゲマスルト、是ハ試掘願ヲ探掘ニ御出シニナル方ノ中デ、新タナ土地ヲ五萬坪カ、十萬坪引ッ附ケテ御出シニナル方ガ非常ニ多イノデアリマス、其ノ方ヲ處置スルノニ監督局ノ職員ハ相當忙殺サレテ居リマス、是ガ順ニ響イデ參リマシテ、簡單ナ試掘ヲ探掘ニスルト云フ出願者ニ御迷惑ヲ及シテ居ル所モ、正直ニ申シマス、ト相當大キナモノデアリマスカラ、此ノ法律改正ヲ機會ト致シマシテ相當ナ準備期間ヲ置イテ、サウ云フ種類ノ出願ハ便宜早ク取扱フ、眞ニ探掘事業ヲ御始メニナル爲ニ、探掘願ヲ御出シニナツタ方ニ其ノ御希望ガアリマスレバ、成ルベク早く探掘願設定ノ處分ヲ致スコトノ方針ヲ更ニハッキリ致サセタイト存ジマス、只今ノ御言葉ハ誠ニ我々トシテハ行政上遺憾ノ點モアリマシタガ、此ノ法律施行ヲ機ト致シマシテ、十分改善ヲ加ヘテ參リタイト存ジマス

○大西虎之介君 只今ノ御説明デ當局ノ心持ハ能ク分リマシタノデ至極結構ダト存ジマスルガ、唯今鑛產局長モ御話ノ通り、現行法ニ於キマシテモ勿論其ノ十日間ニ出願スル、サウ致シマスルト或ハ一月、或ハ一月半ノ間ニ又試掘權ガ來ル、サウシテ其ノ間ニ「ギヤップ」ガアルコトハハ明カデアリマスルガ、併シナガラ其ノ手心ヲサレル當局トシマシテモ、現行法ナラバ現在探掘ノ先願順位ニアリ、サウシテ舊試掘權者デアル者ガ、必ズ出願致シマシタナラバ再ビ試掘權者ニナル譯デゴザイマスカラ、其ノ間手心ガ甚ダ御加ヘニナルノニ御加ヘ易イ點ガアツタラウト思ヒマスルガ、今度ノニナリマスルト、唯先願權ガアル、探掘ノ先願權ヲ有スルト云フノミデアリマシテ、再ビ試掘權者ニナリ得ルカ、ナリ得ナイカト云フコトハ、若シ切レタ日ノ同日同時分ニ出願ガアリマシタナラバ、抽籤、或ハ協議ニ依ツテヤルト云フコトニナリマスノデ、必ズシモ試掘權ガ其ノ人ニ更新サレルト云フコトハ法律上認メラレマセヌ結果、其ノ手心ヲサレルノニ甚ダ御取扱ガ困難ニナルンデハナイカト思ヒマスノデ、其ノ點ニ何等方法的ノ根據ヲ御作リニナル必要ガオアリニナルンデヤナイカト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(小金義照君) 御尤モデゴザイマスルガ、其ノ間權利存續ノ擬制ヲ用ヒマスルト非常ナ弊害モ起リマスルシ、又延長ヲ認メルト云フヤウナ建前ヲ執リマスルト、是亦場合ニ依リマシテハ期間ノ全部ノ總延長ト云フヤウナ結果ヲ招來致シマシテ、今日ノ我が國ノ實情カラ、試掘權者ノ本來ノ權利、竝ニ義務ヲ遂行セシメルト云フヤ

ウナ見地カラ致シマシテ、四年間アレバ十分デアルト云フ結論ニ到達シテ、此ノ試掘權制度ハ四年デ切ツテ、優先權ヲ認メナイト云フ制度ヲ立テ次第デアリマス、ソコデ四年ノ經過過程ニ於キマシテ再ビ試掘權ヲ出スコトハ現行法デモハ出來ナイ、即チ試掘權ノ存續者ガ終ツタ後デナケレバ試掘權ヲ重ネテ出セナイノデアリマスルガ、探掘願ナラバ其ノ四年ノ經過過程ニ於テ何時デモ自由ニ探掘願ヲ出スコトガ出來マスカラ、眞ニ作業ヲ相當續ケテ行カレルヤウナ場合ニ於キマシテハ、先ヅ鑛物ノ存在サヘ證明出來レバ探掘願ガ出サレルノガ常識ダト思ヒマス、其ノ場合ニ探掘願ガ出サレテ探掘權ノ設定ガアル迄ニ、試掘權ガ終ツタ場合ニ於テ探掘權設定迄ノ間ニ權利ノナイ期間ガ出來ルノデアリマス、之ヲドウ處置スルカト云フ問題ガ今後相當重要ダト思ヒマス、ソコデ其ノ期間ニ於キマシテハ、大體ニ於テ探掘願ガ出テ居テ、試掘ノ結果カラ見テ探掘權ガ設定可能デアルト云フヤウナモノニ付テハ、成ルベク速カニ探掘權ヲ設定致ス方針ヲ今日ヨリモ更ニハッキリト探ル積リデアリマス、併シナガラドウシテモ其ノ間、矢張り權利ノ中絶シタ期間ヲ生ジマス、其ノ間ハ已ムヲ得ズ、現行法取扱通り放任行爲ヲ採ヨリ外ナイカト存ジマス、唯不幸ニシテ探掘願ガ許可サレナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ドウナルカト云フ問題ガアリマスガ、是ハドウモ眞ニ鑛物ガ存在シテ居ナカッタ、即チ二十三條ノ逆ニ鑛物ノ存在スルコトヲドウシテモ證明出來ナカッタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ不許可ニスルヨリ外方法ハナイノデアリマシテ、其ノ場合ニ

於テハ中間期間ト云フモノハアトカラ結果的ニハ消滅スル、無カッタト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ鑛業權者ハ已ムヲ得ナイトシテモ、土地所有權者トカ、其ノ他ノ鑛業ヲ遂行スルコトニ依ツテ迷惑ヲ受ケル方面ノ問題ガアリマスカラ、ソレハ實質上他人ニ實ヲ與ヘタナラバ、鑛害賠償ヲ負フトカ、或ハ今度ノ法律ヲ改正致シマシテ、第七十四條ニ權利者デナクナツテカラ義務ヲ、鑛業權者トシテノ危害豫防ノ義務ヲ負フコト五年間ト云フ風ニ改メタヤウナコトモアリマスガ、サウ云フ義務ニ服スルト、斯ウ云フ結果ガ生ジテ來ルノデアリマス、現實ノ法律上ノ解釋ト致シマシテハ、其ノ「ギヤップ」ノ取扱ヲドウスルカト云フ問題デ、之ニ付キマシテハ、具體的ニ大體ノ標準ヲ決メマシテ、四年間或ハマア四年間ヲ經ル迄ニ相當程度ノ試掘ガ行ハレタナラバ、大體ソレヲ調査致シマシテ、モウ探掘權設定ノ可能ナリヤ否ヤノ判斷ノ資料ヲ鑛山監督局ニ於テ持チタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大西虎之介君 私ハ當局ノ御話デ十分其ノ點ハ實際上ノ御取扱トシテ、至極結構ダト斯ウ考ヘルノデアリマスガ、勿論其ノ試掘權者ガ其ノ試掘期間中ニ十分ナル試掘ヲシナイデ、其ノ儘ニナリマシタモノハ、是ハ保護スル必要ハ私ハ絕對ニナイト考ヘマスガ、所謂試掘權者ガ權利アルト同時ニ十分義務ヲ負ヒマシテ、ソレニ依ツテ探掘權願ヲ致シマシタ場合ニ、其ノ探掘權ノ許可ガ當局ノ方ノ御取扱ニ依ツテ、或程度遅レテ居ル期間ニ、是ハ恩惠ト申シマスガ、當局ノ方ノ御心持一ツデ事業ヲ繼續シテ宜イト云フヤウナ風ニナツテ居ッタ場合ニ、萬一不許

可ニナル場合モ生ジマセウガ、其ノ間何カ鑛業權者關係ノ方ノ罰則規定ニ値スルヤウナ行爲ガ起リマシタ場合ニハ、是ハ鑛業權者デナイ人ガサウ云フコトヲ犯シタコトニナリマスシ、又正式ニナリマス、鑛業權ヲ有セズシテ鑛物ヲ採取シタト、斯ウシタコトモ正式ニナルト裁判所關係ノ方デモ起キテ來ルト思ヒマス、是ガ商工省ノミノコトナラバ、或程度ノ御諒解ガアルノデ、大シタコトニナラズニ済ムカモ知レマセヌガ、一度司法省ノ手ニ移リマシタ場合ニハ不測ノ損害ヲ被ル業者ガ相當起キルノデハナイカト思ヒマスノデ、其ノ間ノ御考ハドウデゴザイマセウカ

○政府委員(小金義照君) 現行鑛業法竝ニ改正セラレタル後ニ於キマシテモ、只今ノ鑛業權ナクシテ鑛物ヲ探掘シタト云フヤウナ結果ニ付キマシテハ罰則ガ適用ニ相成ルコトト存ジマス、ソレハ鑛業法第九十四條ニ、鑛業權ヲ有セズシテ鑛物ヲ探掘シタル者ハ二年以下ノ現在デハ、重禁錮ト云フ文字ガ使ツデアリマスガ、又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス、ト斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、現在デモ斯ウ云フ事例ハ有リ得ルコトト存ジマスガ、只今ノ試掘期間ガ滿了シタ後ニ、或種ノ行爲ヲ繼續セザルヲ得ナイヤウナ場合ニ於キマシテハ、成ルベク鑛物ヲ探掘シナイヤウニ續ケテ行ツテ貰ヒタイ、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、試掘權ト云フモノハ是ハ調査ヲ内容トスルモノデアルトカ、或ハ鑛物ノ探掘スルノダト云フコトヲ内容トスルモノデアリマスカラ、鑛物ヲ探掘スルコトハ當然認メテ居リマス、併シナガラ其ノ探掘ノ場合ニ於キマシテモ、著脈、或ハ著炭スル迄ハ鑛物ヲ探掘スルコ

トヲ内容ト致シテ居リマセス、併シ試掘ハ原則トシテ鑛物ノ掘採ヲ内容トスルモノデハアリマセヌカラ、探鑛トカ坑道ヲ掘ルトカ云フヤウナコトガ多イノデアリマス、ソ

コデ成ルベク鑛物ヲ掘採セズシテ、單ニ水ヲ掘出ストカ、或ハ探掘權ガ設定セラレタ場合ニ能率ヲ舉ゲル爲ノ色々ノ準備ノ行爲ヲスルヤウニ成ルベクシテ戴イタナラバ、其ノ間ノ事實上ノ問題ハ解消スルト存ジマ

スガ、併シナガラドウシテモ坑道ヲ掘ル場合ニ於テ脈ニ對シテ「クロス・カット」ニナッテシマッタヤウナ場合ニ、否應ナシニ鑛物モ土石ト一緒ニ掘採セザルヲ得ヌノデアリマス

ガ是等ニ付キマシテハ鑛山監督局ト御打合セ下サイマシナラバ、只今ノ鑛業法第九十四條ニ該當スル事項ガ發生スルコトヲ防止スルコトガ出來ルト存ジマス、尙第九十四條ニ該當スルヤウナ事件ガ裁判所ニ繫屬シタ場合ニ於キマシテハ、殆ド例外ナク鑛山監督局ニ實狀ノ調査トカ、其ノ他ノ連絡ガゴザイマスカラ、其ノ點ハ十分成ルベク只今御指摘ニナリマシタヤウナコトヲ、官民共ニ防止スルヤウニ努メタイト存ジマ

ス
○男爵安場保健君 只今大西サンノ仰シヤイマシタコトハ、最モ重大ナコトダと思フノデスガ、ドウモ法の根據ガナクナルヤウナ工合デ、其ノ點ニ對シテ何カドウシテモ當局デ御考ニナルコトガ私ハ必要デヤナイカト矢張り考ヘルノデアリマス、當局ガ狙ッテイラッシャルノハ要スルニ試掘……、是ガ有望ナ鑛區ダト云フコトガ判ッタラバ、鑛物ガ出テモ出ナクテモ、兎ニ角探掘ニシテ其ノ權利ヲ保有セヨト云フ意味デスカ、簡單ニハッキリ言ッテ戴イデ、廻リ諄クナク御説

明ヲ願ヒタイと思フノデスガ、法ノ精神ヨリモ實際問題ノ方ヲ御考ヘ願ッタラ宜イト思フノデスガ……

○政府委員(小金義照君) 鑛物ノ存在ガ證明出來レバ手取早ク探掘權ヲ設定致シマスルカラ、探掘權トシテ成ルベク早く鑛區ヲ保有シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ希望デアリマス、是ガ立法ノ趣旨デアリマス

○男爵安場保健君 能ク解リマシタ

○委員長(子爵保科正昭君) モウ外ニ今ノ程度デ御質問ハゴザイマセスカ

○男爵安場保健君 尙之ヲ通覽サシテ戴キマシテ、更ニ質問ヲ續行致シタイと思ヒマスガ……

○侯爵徳川義親君 私モ實ハ全ク、此ノ問題ニ付テ、今日初メテ拜見シタノデ、マア同時ニ素人デアリマスカラ能ク分リマセヌケレドモ、只今迄大變御丁寧ナ御説明ヲ伺ヒマシタ、併シ是カラ皆様方相當ニ色々御質問ガアルドラウト思フノデアリマスガ、御丁寧ナ御説明ハ大變宜イノデアリマスケレドモ、餘リ御丁寧過ギル爲ニ多クドウモ時間ヲ取テシマフ虞ガアルノデアリマス、成ルベク御説明ハ要點ヲ、今安場男爵ガ仰セラレタ通り、率直ニ御話戴キタイと思ッテ居リマス、ソレハ今迄ノ立法ノ歴史ヤ經過モ必要カモ知レマセヌケレドモ、ソレヨリモ本當ニ我々知リタイと思フノハ、現在ニ於テ如何ニスベキカト云フ問題ノ方ガ大切ダト思ヒマス、會期モ餘リナイヤウデアリマスシ、サウシテ引張ル譯ニ行カナイ問題ダト思ヒマスカラ、大變勝手ナ御願デスガ、御説明ヲ成ルベク簡單ニ率直ニ願ヒタイと思ヒマス、是ダケ……

○委員長(子爵保科正昭君) ソレデハ本日

ハ此ノ程度デ散會致シマス

午後三時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵保科 正昭君

副委員長 男爵伊藤 一郎君

委員

公爵岩倉 具榮君

侯爵徳川 義親君

伯爵柳澤 保承君

子爵柳澤 光治君

岡 喜七郎君

長 世吉君

男爵肝付 兼英君

男爵安場 保健君

松本勝太郎君

大西虎之介君

秋田 三一君

渡邊 甚吉君

加藤鑠五郎君

小金 義照君

永田彦太郎君

柳原 博光君

酒井 喜四君

政府委員

商工政務次官

商工省鑛產局長

商工省化學局長

燃料局事務官

同

昭和十五年三月十六日印刷

昭和十五年三月十七日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局